

JIS

UDC 66.041.4 : 662.614 : 666.3

R 0302

陶磁器，耐火物などの焼成用 単独窯の熱勘定方式

JIS R 0302⁻¹⁹⁹¹

(1997 確認)

(2002 確認)

(2007 確認)

平成 3 年 10 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 34. 2. 17 改正：平成 3. 10. 1 確認：平成 9. 3. 20
官 報 公 示：平成 9. 3. 21

原案作成協力者：社団法人 日本セラミックス協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 窯業部会（部会長 鈴木 弘茂）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室（☎100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

陶磁器，耐火物などの焼成用
単独窯の熱勘定方式R 0302-1991
(1997 確認)

Heat balancing of pottery and refractory firing periodic kiln

1. 適用範囲 この規格は，陶磁器，耐火物などの焼成用単独窯のうち，液体燃料だき又は気体燃料だきのものの熱勘定方式について規定する。

備考1. 上記の適用範囲のほか，炭素製品，研削といし，その他の窯業製品についてもこの規格を適用することができる。

2. この規格の引用規格を，次に示す。

JIS K 2249 原油及び石油製品の密度試験方法並びに密度・質量・容量換算表

JIS K 2251 原油及び石油製品一試料採取方法

JIS K 2270 原油及び石油製品一残留炭素分試験方法

JIS K 2272 原油及び石油製品の灰分並びに硫酸灰分試験方法

JIS K 2275 原油及び石油製品水分試験方法

JIS K 2279 原油及び燃料油発熱量試験方法

JIS K 2301 燃料ガス及び天然ガスの分析・試験方法

JIS K 2541 原油及び石油製品硫黄分試験方法

3. この規格の中で { } を付けて示してある単位及び数値は，従来単位によるものであって，参考として併記したものである。

2. 基準

2.1 熱勘定は，1焼成期間（燃料のたき始めからたきあげまでの期間）の運転結果による。

2.2 熱勘定は，窯出し焼成品1 t 当たりについて行う。

2.3 熱勘定は，常温を基準とし，燃料の発熱量は，使用時における低発熱量を用いる。

3. 記録及び測定

3.1 窯に関する記録 窯に関する記録は，次のとおりとする。

(1) 種類及び形式

(2) 大きさ（長さ，幅及び高さ又は径及び高さ）

(3) 有効床面積

(4) 有効内容積

(5) 各部（天井，側壁及び底部）の表面積，耐火物の種類及び質量

(6) 燃焼装置の形式（バーナーの形式，容量及び本数を含む。）

(7) 通風装置の形式，ファンの形式及び容量並びに煙突の大きさ

(8) 排熱利用設備の種類，形式，容量

(9) 履歴